

ドレンあげゾウ用保温材 PMU

施工要領書

2021年 6月 9日

因幡電機産業株式会社
技術開発統括部

1. はじめにお読みください

本製品は、継手付き断熱ドレンホース ドレンあげゾウDSH-UP専用の保温材です。
それ以外の用途には使用しないでください。

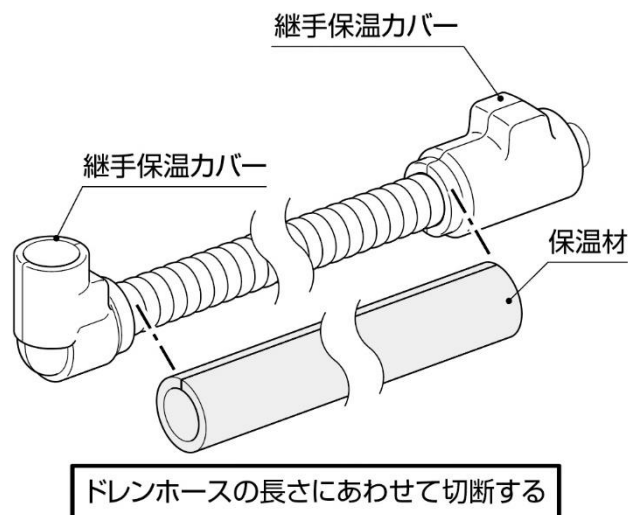
【お願い】

- ・継手付き断熱ドレンホースの継手保温カバーには断熱粘着テープ（DHV）を増し巻きしてください。詳しくは「2－3. 断熱粘着テープの巻き付け」を参照してください。

2. 施工要領

2－1. 保温材の切断

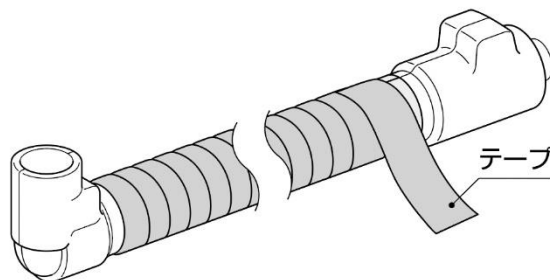
継手の保温カバーを仮固定した状態で（既設機の場合は継手の保温カバーを取り付けた状態で）、保温材をドレンホースの長さにあわせて切断します。



2－2. 保温材の取り付け

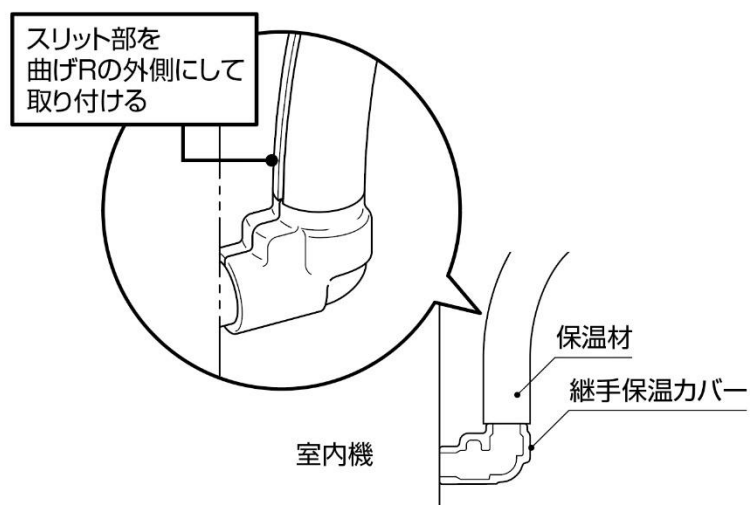
【新設機の場合】

継手の保温カバーを仮固定した状態で、保温材をドレンホースに取り付け、保温材のスリット部にすき間が生じないようにテープを巻き付けてください。
このとき、テープが継手の保温カバーにかからないように注意してください。



【既設機の場合】

継手の保温カバーを取り付けた状態で、保温材のスリット部が曲げRの外側になるように取り付け、スリット部にすき間が生じないようにテープを巻き付けてください。



2-3. 断熱粘着テープの巻き付け

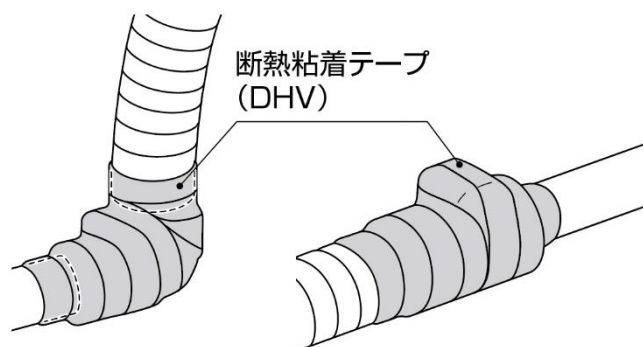
【新設機の場合】

継手に保温カバーを取り付けた後、接続配管および保温材との間にすき間が生じないように断熱粘着テープ（DHV）を2周以上巻き付けてください。

【既設機の場合】

継手の保温カバーに巻き付けているテープの上から、接続配管および保温材との間にすき間が生じないように断熱粘着テープ（DHV）を2周以上巻き付けてください。

継手の保温カバーがホコリなどで汚れている場合は、必ず汚れをふき取ってから巻き付けてください。



以上